

平成29年6月6日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標 題 今年も初夏の味を告げる益田アムスメロンの出荷が始まりました！

(ダイジェスト)

益田メロン部会のアムスメロン初出荷式が5月31日に開催されました。平成29年産アムスメロンは、栽培面積12haで栽培されています。
今年はお荷量78,000ケース、販売金額2億1千万円達成を目指します。

今年の益田メロン部会のアムスメロンは、栽培面積12ha(前年対比94%)、69名(前年対比98.6%)で栽培されています。JAしまね西いわみ地区本部では出荷量78,000ケース、販売金額2億1千万円を目標に設定し、県内や大阪市場への出荷のほか、贈答販売や消費者を産地に招く収穫体験ツアー、積極的な販売促進活動を展開します。

今年3月低温により植え傷みや生育のばらつきが見られるほ場もありましたが、4月以降の好天に恵まれたことや生産者の高い栽培技術力と相まって大玉・ネットの張りの良さ・糖度の高さの3拍子揃った仕上がりとなりました。初出荷は2戸約200ケースとなり、6月16日頃にピークを迎え、7月初旬まで出荷が行われる予定です。

普及部としても昨年からはまった第3期戦略プラン「新たな農業・水産業・農山村活性化計画」の圏域プラン「主要園芸産地の維持・発展プロジェクト」において、メロン部会、JAしまね、益田市等と連携し、担い手の確保、栽培面積の維持・確保等に向けて取り組んでいきたいと考えています。今年には将来のビジョン策定に向けて取り組む予定です。



【光センサーによる糖度検査】



【アムスメロン】



【贈答にどうぞ！】